チャレンジ！家庭菜園

土壌改良について

最初は柔らかかった土壌でも、作物の栽培を続けていると次第に硬くなり、水はけが悪く病害虫も出やすくなります。そのため、菜園に野菜が少ない冬のうちに土壌を再生させておきましょう。

営農よろず相談のご案内

●「営農よろず相談」では、[農作物の栽培方法に関すること][病害虫の防除に関すること]などを中心にご相談を受け付けております。何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひご利用ください。

☎097-544-6462

※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。

●受付時間

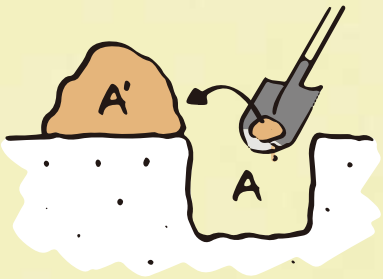
月・水・金曜日（祝日は除く）

8:30～17:00（受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります）

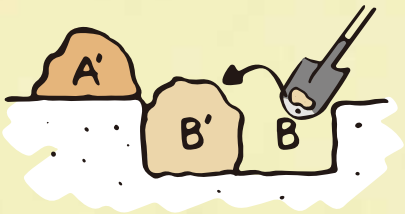
●設置場所／営農部

01 寒起こし

まず、寒厳期の1～2月に行います。スコップや鍬で30cm程の深さまで掘り起こし、隣に土塊を盛り上げます。



次に土塊を反転させるようにして荒く掘り起こし、寒気にさらします。

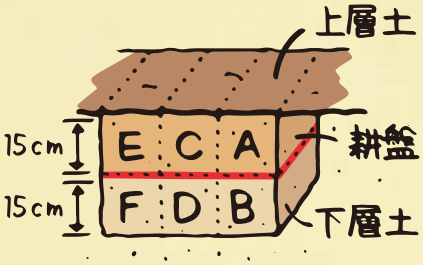


土塊を寒気にさらすことで、含まれている水分が夜間には寒さで凍結し、日中には溶けて乾燥します。この繰り返しで土塊が崩れていきます。

また、寒気にさらすことで土壌中の害虫を死滅させる効果も期待できます。
寒起こしの前には、堆肥など有機物や酸度矯正のために苦土石灰を施しておくとよいです。

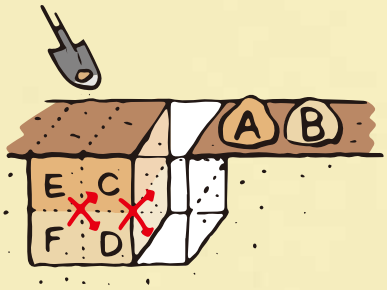
JA おおいたキャラクター
アグリ・ザ・キッド

02 天地返し



普段耕していて柔らかくなっている層を上層土といいます。上層土の下の固い部分を耕盤、その下の層が下層土です。長い間管理機のロータリーで耕していると耕盤ができてしまいますので上層土に養分が蓄積し、土壌病原菌や有害線虫も増えて下層土は固く根が入りにくくなります。
そのため、上層土と下層土を入れ替えることで土は若返り、作物が元気よく育ちます。

入れ替えの方法は、Aの土とBの土は横に分けておき、土をブロックごとにわけ、下図のように入れ替えていきます。



なお、下層土はリン酸やカルシウム、マグネシウムが不足していることが多いのでヨウリンや苦土石灰を施して土づくりをしています。

QRコードでバックナンバーが確認できます。
（スマートフォン対応）

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。